



◇ 「2年生 未来創造Ⅱ 先輩を囲む会」について報告します。

第2学年では、「未来創造Ⅱ 先輩を囲む会」と題して、「同窓の先輩から研究や職業、学生時代の思い出等、様々な話を伺い、自身の将来や生き方について考える機会」を設けました。どの生徒も8つの講座の中から自分の興味・関心に基づいて2つの講座を選び、現場で活躍してみえる先輩方から、多くの実りある話を聞くことができました。

日時：1月17日(木) 6・7限(14:15~16:05)

講師：第一線で活躍する関高出身の社会人の先輩方(順不同)

| | |
|--------------------------------|---------|
| 1 イベントプロデューサー、作家 | 栗山 圭介氏 |
| 2 医師、あいち小児保健医療総合センター救急科医長 | 伊藤 友理枝氏 |
| 3 獣医師 | 後藤 貴久代氏 |
| 4 NPO 法人せき・まちづくり NPO ぶうめらん代表理事 | 北村 隆幸氏 |
| 5 メイクアップアーティスト | 吉田 智美氏 |
| 6 福田刃物株式会社代表取締役 | 福田 恵介氏 |
| 7 岐阜県国際交流センター | 桑原 由香氏 |
| 8 NEXCO 中日本岐阜保全サービスセンター | 黒田 夕貴氏 |

各講師の講義内容と生徒の感想

1 栗山 圭介氏(イベントプロデューサー、作家)

■ 講義の内容

ご自身の豊富な経験から学んだこと、これから学ぶ生徒たちに向けて伝えたい事を、親しみを持って講演してくださいました。成功例を話すのではなく、失敗から何を心得るか、将来の夢を持つ事、親友と呼べる相手はいるか、など、生徒は深く考えながら、栗山先生の話聞いていました。

■ 生徒の感想

- ・失敗を恐れない！
- ・「努力は夢中には勝てない」という言葉が印象的でした。
- ・100%じゃなく、99%で良い。勉強でもそうしたいと思った。
- ・失敗することには価値があるということ肝に銘じたい。

■ 講師の先生から、関高生の印象

- ・大人しい。静か。
- ・聞きたいことをいきなりぶつけてきてくれてもよかった。

■ 講師の先生から、生徒に向けて一言

世界で一番自分のことを好きになれるといいね！



2 伊藤 友理枝氏(医師、あいち小児保健医療総合センター救急科医長)

■ 講義の内容

「今日は、阪神大震災の発生と同一日。その年に関高を卒業しました…」そんな話から講義は始まりました。

ご自身の進路選択、なぜ小児科医をなぜ救急医を目指したのか、現在取り組まれているお仕事紹介、医療現場の実態、医師に求められるものなど、多岐に亘って医療に係る興味深いお話を聞かせていただきました。

伊藤先生は「救急医・小児科医である前に医師でありたい。SpecialistよりもGeneralistでありたい。大切なことは、論理的思考力・人間性・柔軟性・相手がどう考えているかを推測する力…」とおっしゃいました。医療系の進路実現を目指す者にとっては勿論のこと、医師としてだけでなく、人としてどう生きるかを熱い思いと共に生徒たちに語っていただきました。

また、短い講義時間を補うため、受講者の事前アンケートで出された多くの質問にも懇切丁寧に回答していただき、当日の配付資料としたことで、この講義が更に充実したものとなりました。

■ 生徒の感想

- ・医療についての知識を学ぶことができた。看護師になった時、今日のことを思い出そうと思いました。
- ・所々にクイズがあって、より話が頭に入りやすかったです。小児の仕事についてより知ることができました。将来看護師になりたいと思っているので、今回の会で学んだことを生かしたいです。
- ・将来小児の看護師をしたいと思っていたので、小児と成人の違いなどを聞くことができ将来にとっても繋がると思いました。救急についても興味がとてもわいたので自分なりに調べてみようと思いました。これから勉強も頑張る絶対に見護師になろうという気持ちになりました。
- ・進路決定は、自分のなりたいもの、したいことを決めてからするだけではなく、学んでいく中で見つけていくということもあるのだと思安心した。
- ・医者になった方でもたくさん迷い、挫折を経験して夢を叶えたのだと分かりました。医療の中でも小児と大人とは違う治療をするなど様々なことが分かりました。ありがとうございました。
- ・小児科のことだけだと思っていたら、幅広い話が聞けて視野が広がったと思う。自分の将来について考えるために必要な講座だった。話を聞くことができ本当に良かった。私は理学療法士を考えているけど、他の学科も考えてみようと思います。
- ・医師をしながら育児をして、色々な資格を取って、本当にすごいと思いました。医者になることも高校卒業まで決めていなかったことに驚いたけど、最終的に自分のやりたい道に進むべきだと思いました。
- ・医学部はレベルが高すぎるからだめだと思っていたのですが、今回によって医師は本当にかっこいいと思いました。本当に浪人してでも医学部を目指したいと感じました。



■ 講師の先生から、関高生の印象

一生懸命話したつもりでしたが、話し方が悪かったのか反応が少し薄かったです。精進しないといけないと思いました。みんなかわいかったです。

■ 講師の先生から、生徒に向けて一言

色々、勉強に部活に忙しいと思いますが、充実した高校生活を送ってください!!
興味があればあいち小児へ来てください!

3 後藤 貴久代氏(獣医師)

■ 講義の内容

獣医師の仕事について、生徒から沢山の質問があり、それに一つ一つ丁寧に答えて下さいました。講師の後藤先生によると、獣医学は日進月歩の世界で、昨日まで良かったことが今日変わってしまうことが多々あるので、週に1回は勉強会を開き、動物にとって何がベストか、手術の方法などを日々情報交換しているそうです。獣医師の仕事は生き物が相手なので大変ですが、毎日違うので刺激的で楽しく達成感があります。また、体力的にも大変な仕事ですが、それよりも、命を助けたいけど助けてあげられない時や、助かるかもしれないが経済的な問題で治療できないときなど、精神的に辛いことの方が実は大きいのだそうです。しかし、助けることができた動物を見たときや、その飼い主の方にお礼を言われたときは本当に嬉しいと、おっしゃいました。



講師の先生には分かりやすくお話しいただきました。命の大切さを知る良い時間となりました。

■ 生徒の感想

- ・これまでの獣医さんのイメージとは違うところが多くあった。
- ・進歩し続ける医学において毎日が勉強であるということを感じた。
- ・私が獣医師になるとしたら絶滅保護活動でたくさんの動物を助けたいと思いました。
- ・高校生までに夢が何度も変わってやりたいことがいろいろあった話を聞いていろいろ迷ってもいいんだと思った。
- ・獣医の勉強は、ラテン語や生物学など広範囲で驚いた。

■ 講師の先生から、関高生の印象

みなさん、素直でおとなしめで私の頃と変わらないことを意外に思いました。

■ 講師の先生から、生徒に向けて一言

今日は、良い機会をいただきありがとうございました。私もあの頃の気持ちに戻って頑張ろうというエネルギーをいただきました。みなさんも悔いのない人生を!

4 北村 隆幸氏(NPO 法人せき・まちづくり NPO ぶうめらん代表理事)

■ 講義の内容

本講義のテーマは、『関市を若者たちがリターンして暮らせる街にしたい。そのための問題点は何か』でした。

関市には5000ほどの企業がありますが、高校生の8割は1～10社の企業しか知りません。地元の若者に知ってもらいたい。高校生までに「大人になったら関市に戻ってきたい」「ずっと地元でいたい」と思ってもらいたい。そのために「ぶうめらん」を立ち上げ、地元で魅力的な企業を紹介しています。取材には地元の高校生がボランティアで協力してくれています。

自分の生き方を考えるとき、「どれだけ面白い大人に出会えたか」が大切だと考え、そのために地元の企業と高校生をコラボさせる活動をしています。本校でも行いました。

北村さんは 関市で、地元の人たちと、したい仕事をして暮らしています。あなたはどこで、誰と、何をして生きていきたいですか。それを考えるヒントになりました。

■ 生徒の感想

- ・地元愛にあふれた北村さんの生き方も1つの道としてあるなと思った。今日「入船」に行ってきます。
- ・地域を盛り上げるために、情報誌を通して地域住民とのつながりを深められたらより良い人生が見いだせるのかなと思いました。
- ・今自分たちが考えなければいけない進路に関わる話だったので興味をもって聞きました。今回の話で少し地元に関心を持った。
- ・とても新鮮な話を聞けました。自分を育ててくれたこの地域にいつか恩返しをできるようにがんばろうと思いました。

■ 講師の先生から、関高生の印象

- ・積極的に話をしてくれて、うれしかった。

■ 講師の先生から、生徒に向けて一言

後輩と話せて楽しかったです。自分を振り返る時間になりました。



5 吉田 智美氏 (メイクアップアーティスト)

■ 講義の内容

ご自身がどのような過程を経てメイクアップアーティストの道に進まれたのかということを中心に、人生における選択や決断の楽しさを伝えてくださいました。ニューヨークでメイクを学ばれる中で、初めて「これを仕事にしたい!」と感じ、好きと仕事繋がる経験をされたお話が印象的でした。

東日本大震災直後には、ご自身の仕事に意味を見いだせなくなったものの、被災地でメイクのボランティア活動に参加して以来、多くの人を笑顔にできる、人のためになるメイクアップアーティストを目指して来られたというお話には、多くの生徒が共感している様子でした。

最後に、なりたい自分を見つけるために、「やりたいことをやってみる」「行きたいところに行ってみ

る」「会いたい人に会ってみる」、そして将来をもっと楽しく考えて欲しいというメッセージをいただきました。

■ 生徒の感想

- ・興味を持ったことをすぐに実行する姿がかっこいいと思いました。また、その実行する力をまた次の実行の原動力として生きていかっこいいと思いました。目標を持ち続けていくことが大切で、やりたいことを言葉にすることも大切だと思いました。
- ・当時、どういう考えや思いで進路を決めていったのか、等身大で話してくださって、自分に置き換えて聞くことができた。
- ・やったことがないことにチャレンジしてみても、自分の思いもしない特技や好きなことが見つかることもあるとわかったので、これから自分も初めてのことにチャレンジしていきたいと思った。
- ・ちょうど勉強する目的とか、進学後の目標とか、いろいろわからなくなってしまっていたので、同じような気持ちを抱えていた人の話を聞いて嬉しかったです。10年先の自分のありたい姿から今日すべきことを考えるという考え方を知って、なるほどと思ったし、知ることができてよかったです。
- ・最初は場違いかと思ったけど、将来のことについての話が多くて、目標のない自分にはすごくためになりました。



■ 講師の先生から、関高生の印象

一生懸命聞いてくれて、とても話しやすかったです。質問もいただけて、ちゃんと聞いてくれたのだなと感じました。

■ 講師の先生から、生徒に向けて一言

夢を描いて、どんどん実現する楽しさを味わってください！

6 福田 恵介氏（福田刃物株式会社代表取締役）

■ 講義の内容

学生時代に無気力で後ろ向きな性格だった自分が、前向きな人間になり、今、仕事が楽しくて仕方ない。様々な開発秘話やテレビ番組秘話と共に、どのようにして人生（仕事）を楽しむようになったかのお話をさせていただきました。

（株）不二越工具事業部の開発設計時代で、人が嫌がる夜勤に自ら希望したのは、今までの自分を何とか変えていこうという強い意志と、積極的に行動したい気持ちの表れでした。失敗ばかりで落ち込みそうになっても逃げなかったことで得た教訓として、次のようなことを強調されました。



まずは、逃げずに「正面突破」に心掛けること、そして「逃げずに努力してたくさん失敗して、自分で乗り越える体験を繰り返す」ことが大切で、「正面突破」に心掛け努力することで、「確かな自信（実力）」が身に付き、「前向きな思考」になれると、「チャンスが増える、巡ってくる」ことを強調されました。

現在の関市の福田刃物工業（株）において、2014年 NHK番組「超絶 凄ワザ！～前人未到の切れ味を目指せ～」にチームリーダーとして出演したVTRの上映と解説をしていただきました。これは鉄パイプをいかに変形させずに刃物で切断できるかを出場2チームで競うものでした。上映前に本人は「結局この勝負には負けてしまいました」と言われましたが、競ったチームには見事に勝利していました。なぜ負けたって言ったのか分からなかったのを尋ねてみると、「相手チームには勝利したが、鉄パイプに負けた」と言われました。確かに切り口は綺麗でしたが、鉄パイプが楕円形に変形していたことに納得がいかなかったそうです。いつか必ず綺麗な円形の切り口になるカッターを作りたいというのが、やはり職人の拘りだなあと感じた次第です。

生徒もテンポいい展開に引き込まれ、興味をもって話を聞くことのできたとても良い講演でした。

■ 生徒の感想

- ・ 普段聞けないようなリアルな話が聞けて良かったです。共感できるような話もあって良かったです。
- ・ 開発についてすごく興味を持った。開発というものが、自分のやりたいこと、楽しいと思えることかもしれない。いい発見ができた。
- ・ 正面突破という言葉が心に残った。これからは、ひとまずやってみるということを大切にしたい。
- ・ 自分の人生に灯火がつくような、そんな良い話だったと思う。どんなことでも正面突破ということも十分に伝わったが、一番大切に思ったのは努力するから楽しいということ。全力で生きたい。
- ・ 生き方について認識を高めることができた。
- ・ 「失敗は成功のために必要なことである」これを大切にしたいです。
- ・ 波乱万丈な人生を送ってきたことを知り驚いた。正面突破が大切なことを知り、これからは失敗でへこまず切り換えていけるようにしたいと思った。また、モノを開発し、それが実際に役に立つというのは楽しそうだから、将来こんな会社に行きたいと感じた。
- ・ 何事も100点を取ってしまえば、その先は無くなってしまうので、完璧で99点と考えて、次さらに上を目指すための1点を考えるのが大事だと分かりました。

■ 講師の先生から、関高生の印象

- ・ みんな真剣に聞いてくれて、とても話しやすかったです。特に最後の方はとても楽しい感じになって、私も楽しくなってきました。

■ 講師の先生から、生徒に向けて一言

良い行事で、先輩としてもとてもやりがいがありますし、生徒にとっても今後の進路に役立っていただけたら嬉しいです。

「正面突破」この一言に尽きます。たくさん失敗して正面突破！

7 桑原 由香氏（岐阜県国際交流センター）

■ 講義の内容

岐阜県庁に入庁されてからこれまでに担当された様々な仕事、とりわけ、昨年夏、杉原千畝を縁にしたリトアニアとの交流を深めるために、リトアニアの舞踏団を招聘してコンサートを開催されたことな

どをご紹介いただきました。その中で、県職員（地方公務員）としての仕事のやりがいやご苦労、国家公務員との違い、仕事を選ぶ際に大切にしたいこと、勉強以外で身につけておきたい力など、多岐にわたって有益なお話をうかがうことができました。

■ 生徒の感想

- ・公務員の仕事の良さや魅力がよくわかりました。また、「最後まで諦めない」、「不満ばかり言うてはいけない」など、印象に残る言葉もありました。
- ・公務員の仕事は「自分が手がけたことが形になる」、「社会の役に立てる」、「いろいろな仕事を経験できる」点など、とてもすばらしいと思いました。自分も将来、そのようなことができる仕事に就けるように努力したいと思いました。
- ・働くということは「傍を楽にする」という考え方があると聞いて、なるほどと思いました。
- ・公務員は楽なイメージがありますが、決して楽ではないことがわかりました。
- ・人間力やコミュニケーション力が大事だというお話が印象に残りました。今の友人関係や、人を大事にする気持ちを持ちたいと思いました。
- ・私は海外の人たちと関わる仕事を希望しています。地方公務員でも、海外の人たちと関わる機会がたくさんあることが知れて、興味がわきました。
- ・公務員の仕事の面白さや大変さの一端を知れたことは、今後の夢や展望を考える上で参考になった。地方公務員は自治体や国内にとどまらず、様々な場所で活動しているとは思っていなかったのが驚いた。
- ・「努力する人は希望を語り、怠ける人は不満を語る」という言葉を聞いて、自分のダメなところを見つめ直し、頑張っていこうと思いました。



■ 講師の先生から、関高生の印象

- ・公務員の仕事に対する関心に差があるように感じましたが、ノートを取りながら聞いてくれる子もいてうれしかったです。

■ 講師の先生から、生徒に向けて一言

受験とその先、自分のやりたいこと、夢の実現に向けて最後まで諦めず、頑張ってください！

8 黒田 夕貴氏（NEXCO中日本岐阜保全サービスセンター）

■ 講義の内容

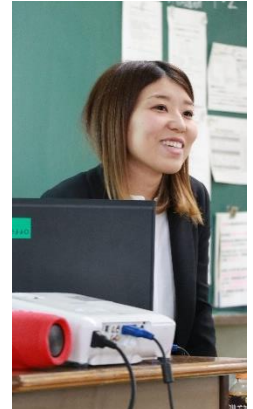
講師の先生には、自分自身の高校生活・大学生活について自己紹介を兼ねて話していただきました。その後、高速道路がいかに関東の経済や地域生活を支えている存在であるか映像を用いながら実例を挙げて教えて下さいました。さらに、高速道路を管理維持している NEXCO 中日本という会社がどのような仕事をして安全を保全しているか、また、この仕事が地域へ貢献できる、地域の人を幸せにできる仕事であることを話して下さいました。アドバイザーとしては、高校時代に目標が定まっていなくても大学で学ぶ中で得た興味関心が目標につながり、その目標を目指して努力を継続する内に夢につながることを自己の経験から教えていただけました。

■ 生徒の感想

・地域科学部からは公務員というイメージが強かったけれども、一般企業という新たな道があることが知り得てよかった。文系でも道路の保全をする企業で働くことができることがわかり、自分の進路を決める参考になった。

・国の根幹を成す高速道路の話が聞けておもしろかった。高速道路の管理維持には大勢の人たちが関わっていて、いろいろなサポートをすることで成り立っていることを知ることができた。

・今は漠然とした目標しかなくても大学で学び活動する中で目標が確定し、職業につながるということがわかった。夢は急いで見つけなくてもいいのだと思った。



■ 講師の先生から、関高生の印象

とても真剣に聞いていただいてありがたかったです。私自身は文系だったので、理系の生徒が多く希望してくれたのは驚きでした。

■ 講師の先生から、生徒に向けて一言

今日はありがとうございました。

みなさんの高校生活と今後の人生が充実したものになるよう、いろいろなことに挑戦して行ってください。